

わたしたちの広島だから、 あなたの「救いたい」思いを赤十字に

救うを託されている。



日本赤十字社 広島県支部
Japanese Red Cross Society



災害救護 Domestic Disaster Response

▶「いのちを守るための備え」を行っていますか？

近い将来に起こるとされている「南海トラフ地震」。

皆さんは災害への備えは行っていますか？

広島県は南海トラフ地震の震源域に近いので、地震・津波で大きな被害を受けることが予測されています。

東日本大震災から今年で12年。

改めて、日々の暮らしの中で「自助」「共助」の力を高めることが重要です。

「自助」の力を高めるためには、自分自身と家族のための備えを実行することが大切です。また、「共助」の力を高めるためには、ご近所や地域にいる人を知り、皆で協力しあう関係を日頃から築いておくことが大切となります。

日本赤十字社広島県支部は救護員の養成のため救護訓練を行う他、県内で発災した火災等に対し救援物資を配布しています。

また赤十字防災セミナーを自治会・町内会等地域の団体等を対象に、実施しております。

「まさか」は必ずやってきます。

身近な大切な人を失わないためにも一人一人の防災対策をしっかり進めていきましょう。



傷病者に対する診療【広島県・市総合防災訓練】

主な実績 令和4年4月1日～令和4年12月31日

- 赤十字防災セミナーの開催
受講者数205人／開催回数11回
- 救援物資の配付
毛布70枚・緊急セット35組・バスタオル67枚
安眠セット63組・寝衣68着



日本赤十字社
広島県支部長
湯崎 英彦

人間のいのちと健康、尊厳を守る

平素から赤十字活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、令和4年は、ウクライナにおける戦闘の激化により1,443万人以上の避難民やパキスタンにおける洪水では国土の3分の1が水没し3,300万人以上が被災するなど世界各地の紛争や自然災害に伴い、深刻な人道危機が発生しています。

また、国内では3月に福島県沖を震源とする震度6強の地震、8月には大雨に伴い山形県、新潟県、石川県、青森県など広域で河川の氾濫や土砂災害が起きました。

日本赤十字社は、「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という使命を果たすため、災害救護をはじめとする各種事業を積極的に展開して参りますので、本年におきましても、皆さまからの活動資金のご支援や赤十字講習会、防災セミナーのご参加、青少年赤十字・献血を通じたボランティアなど各種活動へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年度 日本赤十字社広島県支部の活動報告



救急法等の講習 Safety Services

日常生活における事故防止や手当ての基本、人工呼吸の方法、AEDを用いた除細動、止血の仕方、包帯の使い方、骨折などの場合の固定などについての知識と技術を習得する救急法の他、水上安全法・健康生活支援講習・幼児安全法の4つの講習を行いました。

● 主な実績 令和4年4月1日-令和4年12月31日

 救急法	受講者数 10,145人 開催数 334回	 水上安全法	受講者数 1,086人 開催数 43回
 健康生活支援講習	受講者数 514人 開催数 23回	 幼児安全法	受講者数 3,804人 開催数 181回



【幼児安全法】



【健康生活支援講習】



青少年赤十字 Junior Red Cross

集団生活の中でリーダーとして必要な自主・自立の精神を身につけるリーダーシップ・トレーニング・センターなどの各種研修会を行いました。

□参加者:小学校27名・中学校30名・高等学校37名 計94名



国際人道法のグループワーク
【広島県リーダーシップ・トレーニングセンター】

青少年赤十字創設100周年を記念して、「100万羽おりづるプロジェクト」が行われました。広島県内の312の学校の児童や生徒にご協力いただき1,206,416羽のおりづるを制作することができました。

集まったおりづるは広島の子どもたちの特別な思いを込めたメッセージを添えたノートに再生し、ネパールの子どもたちに届けました。



東広島市立平岩小学校で
制作されたおりづる

令和4年度 日本赤十字社の国際活動

ウクライナ人道危機への対応

国際赤十字の支援実績

令和4年12月31日までの累計



厳しい状況に苦しむ女性を元気づけるウクライナ赤十字社ボランティア ©ウクライナ赤十字社

 安全な水の提供 1,060万人	 保健医療支援 119万人
 物資など基本的支援 1,455万人	 現金給付支援 120万人
 居住支援 189万人	 保護・予防支援 23万人

国内災害義援金・海外救援金の募集

国内で発生した大雨、台風に対し、被災地の方々を支援するため義援金を募集しました。

また、赤十字の海外における人道支援活動のため、海外救援金を募集しました。



国内災害義援金

名称	件数	金額
令和4年8月3日から大雨災害義援金	62件	3,393,586円
令和4年台風第15号災害義援金	38件	120,933円

※令和4年4月1日から令和4年12月31日までに日本赤十字社広島県支部で受領した国内災害義援金及び海外救援金の実績です。

海外救援金

名称	件数	金額
アフガニスタン人道危機救援金	6件	107,563円
ウクライナ人道危機救援金	199件	12,691,471円
バングラデシュ南部避難民救援金	4件	16,148円
中東人道危機救援金	4件	6,316円

国内災害義援金とは…被災都道府県に設置される義援金配分委員会で定める配分基準に従って、市区町村等の自治体へ配分され、被災地の方々の生活支援に役立てられます。義援金は、日本赤十字社の活動資金や事務経費に使われることは一切ありません。

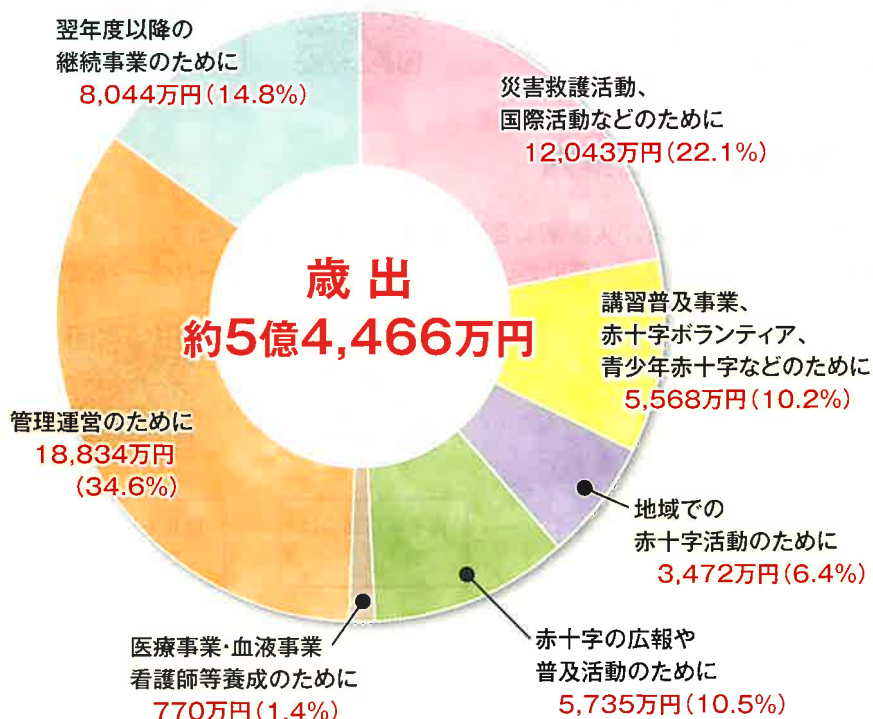
海外救援金とは……被災国の赤十字社が行う被災者支援活動に役立てられます。被災者への医療や衣食住の支援といった緊急救援や復興支援、健康問題に苦しむ人々の状態を改善するための保健衛生活動などに活用されます。

国内災害義援金の流れ

★ご寄付いただいた義援金は全額送金されます★



活動資金の募集実績とその使途(令和3年度)



令和3年度、皆さまからお寄せいただいた活動資金は、

356,376,438円(330,482件)

となりました。

心より御礼申し上げます。

歳入 約5億4,466万円

〔内訳〕

活動資金	35,637万円
その他収入	6,304万円
継続事業のための繰入金	12,525万円

↓ 令和3年度の活動はこちら

日赤 広島県支部 事業報告



寄付するあなたも赤十字です。 日本赤十字社へのご寄付の方法

1 お住いの地域の日赤窓口、自治会や町内会で

活動資金は、各市区町の役場又は社会福祉協議会の赤十字窓口(地区・分区)で随時受け付けている他、お住いの地域の自治会や町内会を通じた募集をしています。
(ご協力は自由意志によるもので強制ではありません。)

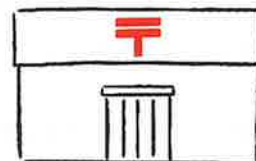


地域毎の赤十字
窓口はコチラから

2 各金融機関窓口からお振込みで

○郵便局・ゆうちょ銀行のお振込み先

記号番号	01320-6-69124	日本赤十字社広島県支部
店名・口座番号	一三九店 0069124	



○銀行、JAバンク、信用金庫のお振込み先

金融機関名	支店名	口座種別	口座番号	口座名義
広島銀行	大手町支店	普通	0830810	日本赤十字社 広島県支部長
もみじ銀行	鷹野橋支店	普通	1005837	
JA広島信連	本所	普通	0103691	
広島信用金庫	鷹野橋千田支店	普通	0175821	

振込用紙の
ご請求は
コチラから



3 クレジットカードで

Webサイトからのご登録により、クレジットカードでご寄付いただけます。ご寄付の方法は、毎年・毎月・今回のみの3種類からお選びいただけます。



日赤 寄付 クレジットカード

4 口座振替で

ご指定の口座から自動引き落としでご寄付いただけます。
「会員加入申込書」をホームページからダウンロードしていただくか当支部までご請求いただき、必要事項を記入後、郵送にてお申し込みください。



日赤 寄付 口座振替

5 遺言による寄付(遺贈)や相続財産で

日本赤十字社は、遺贈や相続財産による寄付、香典返しによる寄付を承っております。
「救いたい」というご遺志を引き継ぎ、災害・病気・紛争で苦しむ人々の命を守り、繋いでいきます。
詳細はホームページをご覧ください。当支部までお問合せください。



遺言による
寄付(遺贈)は
コチラから

赤十字講習会のご案内

赤十字講習会は、企業や団体、学校、地域等へ指導員を派遣し、ご希望(日程・内容・人数等)に合わせた講習を行うことができます。
講習内容は、「救急法」「幼児安全法」「水上安全法」「健康生活支援講習」のほか、「防災セミナー」があります。詳しくはホームページをご覧ください。

(例)救急法短期講習

◇標準時間 2時間 ◇開催費用 無料(講師一人あたり3,000円)

◇留意事項

・開催費用については、地域毎の赤十字窓口からお申込みいただくと費用は免除になります。

(地域毎の窓口は1の二次元コードから)

・必要に応じて受講者一人あたり50円の消耗品費、資材送付にかかる費用などが発生します。

・会場は主催者様で確保をお願いします。



赤十字講習会は
コチラから



防災セミナーは
コチラから



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

広島県支部

〒730-0052 広島県広島市中区千田町2-5-64 (担当課)組織振興課
TEL 082-545-5011(直通) 082-241-8811(代表)